

防災・減災のために今できること

災害は忘れない頃にやってくる

平成30年7月豪雨では本市も過去に経験したことがないほど甚大な被害を受けました。「災害は忘れた頃にやってくる」といわれますが、近年は忘れる間もないほど頻繁に自然災害が発生しています。いつ発生してもおかしくない災害にどう備えるか、常に考えておかねばなりません。

災害に備える

市が市民1,200人(無作為抽出)を対象に実施した「平成30年7月豪雨災害に関する市民アンケート」では、「どこへ避難してよいか分からない」「どこへ避難してよいか分からなかった」「飲食料を備蓄していなかった」という声が多く寄せられました。

●あらかじめ避難場所を決める

災害が発生する恐れがあるときは、

【市内で過去に発生した主な災害】

災害	主な被害
昭和42年7月豪雨	死者20人、沼田川流域洪水被害、土砂崩壊
平成3年 台風第19号	暴風・高潮被害
平成11年6月豪雨	本郷・菅川洪水被害
平成13年 芸予地震	市内最大震度5強
平成16年 台風第16号・18号	大雨・暴風・高潮被害
平成22年7月豪雨	死者1人
平成26年8月豪雨	大和・椋梨川越水
平成28年6月豪雨	土砂崩壊
平成30年7月豪雨	死者8人、沼田川流域洪水被害、土砂崩壊



▲非常持ち出し品の例

☎危機管理課

☎0848・67・6197

●**飲食料や毛布などを準備する**
災害の範囲や規模によっては、物資の供給が止まります。避難所には限られた数量の物資しかありません。最低3日間は避難所で過ごせるよう、飲食料や毛布などの非常持ち出し品を用意しておきましょう。

●**避難所の情報は市ホームページで確認することができます。**
※避難所の情報は市ホームページで確認することができます。

●**早めに安全な場所へ避難することが大切です。**市や地域団体が開設する避難所や自宅の2階など、災害の種類(浸水、土砂、津波、高潮)に応じて逃げる場所を決めておきましょう。

市民防災訓練を行います

市内全域で大地震を想定した防災訓練を実施します。頭では分かっているつもりでも、いざという時に冷静に行動することは難しいことです。災害に備えて訓練に参加しましょう。
 とき 17日(日) 9時15分～10時30分ごろ
 ところ 市内全域

内容

●情報伝達・安全行動訓練 (9時15分～)

市内58カ所に設置している屋外スピーカー、FM告知端末、FMみはら(87.4メガヘルツ)で訓練放送を流します。市メール配信システムに登録している人には訓練メールが届きます。訓練放送を聞いたら、安全行動①姿勢を低くする②体や頭を守る③揺れが収まるまで待つ)を取ってください。

●避難訓練(9時30分～)

非常持ち出し品を持って、市や自主防災組織などが開設する避難所に避難しましょう。大規模災害時の避難所運営は、避難者による自主運営が基本です。訓練では防災士などと一緒に、避難所運営を体験してみましょう。

開設する避難所 第一中学校、第二中学校、第三中学校、宮浦中学校、須波小学校、沼田東小学校、本郷小学校、久井就業構造改善センター、大和支所、そのほか自主

市は災害情報を伝えるため、FM告知端末(ラジオ)を配布しています。申し込みがまだの方は、早めに申し込んでください。

☎情報推進課(☎0848・67・6195)

▶ 昨年の訓練の様子



防災組織などが開設する避難所 ※市が開設する避難所では、市防災士ネットワークによる防災講話などを行う予定です。
 ☎危機管理課(☎0848・67・6197)